

さんすーぱーまん（広島文教女子大学）

◎チーム紹介

「さんすーぱーまん」は、広島文教女子大学初等教育学科の8名からなるチームです。活動内容は、子どもたちの宿題をお手伝いする学習支援です。宿題のチェックや「分からない」が「分かる」になったときの喜びを一緒に味わいたと思います！
皆さん、一緒に楽しくお勉強をしませんか？

◎活動の様子

活動教室：ウイング子ども教室（北広島町）

日 時：平成24年8月9日（木）9：00～12：00

場 所：豊平中央公民館

参加人数：2名（大学生ボランティア）、15名（子ども）



夏休みの宿題をかかえて、子どもたちが会場に集合しました。計算、漢字、ドリル、読書等それぞれが自分の宿題に取り組みました。

「ここが、分からない」という子どもには、丁寧に説明したり、ヒントを与えたりしていました。問題を解いたときの子どもたちの表情は、とてもうれしそうでした。



低学年の子どもは、「計算カードの時間を計ってください」「本読みを聞いてください」と学生に積極的にお願いしていました。

夏休みも後半に入り、子どもたちは「早く宿題をすませたい」と言っていたので、よい活動でした。

「今度は、お姉ちゃんたちと遊びたい」と言っている子どももいました。

○大学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 初めての活動なので、緊張しました。
- ・ 子どもへの接し方の勉強になりました。勉強ばかりではなく、活動の間に学校のことや好きなことなどを聞くと、子どもが喜んで話してくれることが分かったし、子どもと親しくなれました。

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 学生さんは、優しいまなざしで、子ども一人一人に接していただきました。
- ・ 夏休みということで、夏休みの宿題をすることを活動内容としました。宿題や算数を教えてもらい、子どもたちは、落ち着いて学習に取り組んでいました。
- ・ ワクワク学び隊の3回目の利用でしたが、それぞれの活動が子どもたちに喜びを与えるものでした。